



平成26年10月31日（金）発行

『子どもの夢と後押し』

校長 油井 宏樹

前庭の木々や運動場の桜の葉もすっかり色づき、秋の深まりを感じる今日この頃です。過日10月21日（火）に行いました「歯と口の健康づくり」の研究発表会には、多くの保護者や地域の皆様にご参観いただき有難うございました。また、駐車場や受付、会場の後片付け等のご協力に、感謝いたします。

子ども達の様子は、如何だったでしょうか。「歯と口の健康づくり」を切り口にして、自分の体を見つめ直し『健康が大切である』という意識を少しでもつけることができましたと思います。1年生から6年生まで、どの学年においても、子ども達の頑張っている姿や成長の跡をご覧いただけたのではないかと思います。今後も、各学年の頑張りを普段の学習や日常生活に生かしていけるよう、職員一丸となって指導していきたいと考えております。

さて、クラレという会社が「将来就きたい職業」についての調査をしたところ、男児のトップは「スポーツ選手」で全体の約2割強、以下「警察官」「運転手・運転士」「テレビアニメキャラクター」でした。夢を与えてくれる憧れの存在がスポーツであることは昔も今も変わらないですね。それに対して、保護者が男児に就かせたい職業の1位が「公務員」、2位が「医師」、3位が「スポーツ選手」、4位が「会社員」と続き、安定志向を望む親心が分かります。

一方、女兒が就きたい職業は、「パン・ケーキ屋・お菓子屋」。以下「芸能人・タレント」、「保育士」、「花屋」、「医師」が続く結果となりました。反面、女兒の保護者が将来就かせたい職業の1位は「公務員」、以下「看護師」、「薬剤師」、「教員」、「医師」の順で、これから迎える高齢化社会を見据えた親の思いが垣間見える結果となりました。

皆さんのお子様の夢は何でしょうか。子ども達が夢を持つことは大変大切だと考えています。夢のために学習する。すべての教育活動はここに帰結すると言っても過言ではありません。

子どもが成長するにしたがって、人生のどこかで自分の能力や適性が分かり、夢を現実的な希望に転化せざるを得ない状況が出てきます。実現が難しければ難しいほど、夢は遠のくのが現実ですが、現時点の小学生にそういうことをわざわざ言う必要はありません。「弁護士になりたいけれど、社会科が苦手だから」とか「デザイナーになりたいけれど、絵が下手だから」というだけで夢を諦めさせたくありません。小学生には、一生懸命に勉強すれば、どんな夢も叶うものと寄り添ってあげる心が大切です。そんな思いで大海小学校の教職員は日々の教育活動に臨んでいます。

「何のために勉強するの?」と子どもから尋ねられたら、それは、「将来、夢を実現するためだよ。」と。ピアニストの辻井伸行さん、野球選手のイチローさん、松井秀喜さん、女優の宮沢りえさんなど、親が後押しすることで夢を叶えた人はたくさんいます。保護者の皆様もお子様の夢の実現に向かってできることを支援し、そういう姿勢を子どもに見せることが子どもの励みになります。学校も家庭も子ども達の夢を叶えられるよう応援していきましょう。